



とちょう保育園便り

2021年2月号

最も寒さの厳しい季節となりました。そんな中でも、公園の木々のつぼみは膨らみ始め春の足音が近づいて来ています。子ども達は散歩時の冬のお支度にもすっかり慣れたもので、自分の上着を探して、靴下を選び、元気にお散歩に出かけていきます。

もうすぐ節分。鬼のお面を作り、「まめまき」や「鬼のパンツ」の歌を口ずさんで、準備は万端。ホールの鬼のモビールを、通るたびに指をさして表情を真似ている子もいます。

1年間の子どもの健康と成長をお祈りして、新聞紙で作った豆で豆まきを楽しみたいと思います。

とちょう保育園



2月の予定

| | |
|------|--------------------------------------------|
| 2月1日 | 節分行事 ※密を避けるため、今年度は午前の部と、午後の部に分かれて楽しめます。 |
| 4日 | 歯科健診（朝おやつは、お茶のみ） |
| 16日 | 身体測定 |
| 19日 | 避難訓練 |



私たちが目指している保育

「子どもを第一に、一人ひとりを理解し、こどもにとって最もふさわしい生活の場で温かい保育を行う。」ことを目指しています。

実際の保育では、それぞれのペースを大切にしています。例えば集団の場で一般的に見られる「ご飯の時間だから、片づけるね」「ご飯食べたから昼寝するよ」という光景。子ども達としては、“あと少しでパズルが完成するのに…” “ブロックで電車ができそうなのに…” “まだ、ぜんぜん眠くなーい！” と思っているはず。だいたい、全員が一斉に眠くなるはずがありません。大人だったら、あと少しでパズルが完成しそうなのに片づけられたら激怒しますよね。「出来たら、食べよう」「眠くなるまで遊ぼう」という様に、保育士が子どもの欲求をしっかり察知して受け止めていきたい。それぞれに合わせた対応こそ、子ども達にとっての優しい保育と信じて。特に0歳～3歳の子どもの達には、受容が大切。思いをしっかりと受け止めてもらえた子ども達は、人を信じる心や、人を思いやる心が育っていくと思います。

主任のコーナー

うさぎ組さんは好奇心旺盛！楽しいことが大好きなクラスです。先日、とっても寒かった日に足湯をしました。「外から帰ってきたら入ろうね」と朝から子どもたちに話をすると…「お風呂ってどこかな？」「あったかいかなあ」「早く足のお風呂に入りたい！」「もう（お風呂に）着く？」とその日は公園に向かう道中や帰り道でも、友だち同士でお話する姿が見られました。足湯は大盛況！いつもと違う雰囲気（シャワー室の一角に椅子と一人用の洗面器に湯をはって作った足湯コーナー）で、ちょっぴり静かに入っていましたが「きもちいい！」「あったかいねえ」と目を細めてウットリしている姿の子どもたちを見て嬉しくなりました。卒園まであと少しとなってしまいましたが、ワクワクする気持ちを大切にうさぎ組さんとの日々を過ごしていきたいです。